

# 市教委との懇談会を開催しました

(市P連事業部会・部会長 筆)

令和4年度倉敷市PTA連合会（以下、市P連）と倉敷市教育委員会（以下、市教委）との懇談会が10月24日（月）15：00～倉敷市役所において、市教委からは井上教育長他7名、市P連10名、倉敷市公立幼稚園・こども園連絡協議会（以下、市幼・こP）2名、事務局3名の計19名にて開催されました。

開始にあたり、井上教育長には「学校長とPTA会長とのよりよい関係づくりを通して、PTAのみなさんにサポートをお願いしたい。」とご挨拶頂きました。

市P連妹尾会長からは「教育委員会は表に出ない根っこ、我々PTAは木であり、協力し合って子どもたちのために素敵な果実を实らせましょう。」と挨拶を行いました。

## 市P連会長から教育長へ要望事項提出



## 市幼・こP会長から教育長へ要望書提出



人材・人員確保についての質問では、教員のなり手が少なく、人材の確保に苦勞していること。しかし、ハローワークなど今までになかったアプローチをしていることを教えて頂きました。各校で産休・育休・病休者が増加しており、子どもたちの学びに影響が出ないように退職者や経験者などを中心に常に探しているとのことでした。

特別支援教育についての質問では、より細かな対応に努めているが、まだまだ課題はあること。その中でも、「保護者の声は市教委に届いています」と力強い回答を頂きました。

部活動の地域移行に関する質問では、まだ何も決まっておらず課題が山積みであると誠実な回答でした。

感染症対策についてはマスクの脱着などにおける指針の明確化を要望し、長期の休校になった場合にはICTを活かしたりリモート学習についてもお話を聞くことができました。

市幼・こPからは昼食提供の質問が出ました。現状では衛生面や安全面で実現が難しいと言った回答でした。その他にも園児確保のために3歳児保育や駐車場確保などの要望が出されました。

最後に本年度は、より多くの質問項目を市教委に伝えるため、懇談会で取り上げることのできなかった質問や要望についても別にまとめて回答をお願いし、結果を市P連HPにて掲載することも提案しました。これに対しては「可能な限り努力する」ということでした。可能な限り多くの回答が返ってくることを今後、期待したいと思います。



全体を通して、市教委のみなさんは各校の状況を細かく把握されており、可能な限りの情報を提示して下さいました。

人員不足の中、精一杯頑張っておられる先生方を、市教委・PTAがしっかりバックアップすることで、子どもたちが安心して通える学校を守っていく必要があると再確認する有意義な懇談会となりました。